

大阪府子ども総合計画中間見直しのための実態調査  
(幼稚園・保育所(園)における保育士等確保のための調査・子育て支援活動に関する調査)

**【幼稚園・保育所(園)における保育士等確保のための調査 (問1～問7)】**

問1 貴幼稚園、保育所の状況についてお聞きします。あてはまるものに○をつけてください。

問1-1 施設種別

- |        |           |
|--------|-----------|
| 1. 幼稚園 | 2. 保育所(園) |
|--------|-----------|

問1-2 施設の所在地(枠内に市町村名を記入してください)

( )

問1-3 運営法人

- |         |           |          |        |
|---------|-----------|----------|--------|
| 1. 学校法人 | 2. 社会福祉法人 | 3. NPO法人 | 4. その他 |
|---------|-----------|----------|--------|

問1-4 認定こども園の認定(認可)

- |                             |                         |
|-----------------------------|-------------------------|
| 1. すでに認定を受けている              | 3. 今のところ認定(認可)を受ける予定はない |
| 2. 認定(認可)を受ける方向で検討中(申請中も含む) | 4. 今のところ未定              |

※「認定(認可)」とは、現行制度における4類型の認定と、子ども・子育て支援新制度における新たな幼保連携型認定こども園認可を指します。

問1-5 認可定員と現員(平成31年1月1日現在)(枠内に数字を記入してください)

認可定員		人	現員		人
------	--	---	----	--	---

問1-6 幼稚園教諭・保育士の雇用状況(平成31年1月1日現在)

(1) 正規職員の人数と年齢構成・性別

10代		人	(うち男性		人)
20代		人	(うち男性		人)
30代		人	(うち男性		人)
40代		人	(うち男性		人)
50代		人	(うち男性		人)
60代以上		人	(うち男性		人)

(2) 非正規職員(派遣を含む)の人数と年齢構成・性別

10代		人	(うち男性		人)
20代		人	(うち男性		人)
30代		人	(うち男性		人)
40代		人	(うち男性		人)
50代		人	(うち男性		人)
60代以上		人	(うち男性		人)

問 1-7 次の a)~g)の業務を担う幼稚園教諭・保育士について、正規職員、あるいは、非正規職員のどちらの職員が主に担っていますか。それぞれであてはまるもの 1 つに○をつけてください。

	1.主に 正規職員	2.主に 非正規職員	3.どちらとも いない	4.職員を必要と しない
a) 学級(クラス)を担当する職員	1	2	3	—
b) 正規職員の休暇取得のための代替職員	1	2	3	—
c) 年度途中の受入児童数の増に伴って補充する職員	1	2	3	4
d) 一時預かり・一時保育を担当する職員	1	2	3	4
e) 早朝や夜間の延長保育を担当する職員	1	2	3	4
f) 障がい児対応を担当する職員	1	2	3	4
g) 産休・育休、病気休業等をとる職員の代替職員	1	2	3	4

※「4.職員を必要としない」は、そのような事例が発生したことがない、あるいは、そのような業務を行っていない場合に選択してください。

問 2 幼稚園教諭・保育士の採用状況についてお聞きます。

問 2-1 過去の直近 1 年間(例:平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)の採用において、貴施設が希望していた採用人数と実際に採用した人数について記入してください(法人等での一括採用の場合は貴施設への新規配属人数を記入してください)。

施設としての採用希望人数		実際に採用した人数			
正規職員	非正規職員	正規職員		非正規職員	
			うち新卒者		うち新卒者
人	人	人	人	人	人

問 2-2 定期的に正規職員を採用していますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。定期的に採用している場合は、枠内におおよその採用月を記入してください(採用月を決めていない場合は空白で結構です)。

1. 毎年、定期的に採用している ( 月)	3. 定期的に採用せず、必要の都度、採用している
2. 数年ごとに、定期的に採用している ( 月)	4. その他

問 2-3 問 2-1 での採用等を踏まえて、職員の採用にあたって有効であると考える募集方法について、あてはまるものをそれぞれ 3 つまで○をつけてください。

(1) 正規職員の採用

1. ハローワークからの紹介	6. インターネットによる求人サービス
2. 大学等の養成機関からの紹介	7. 新聞折り込み等の紙媒体による求人広告
3. 福祉人材センターからの紹介	8. 行政機関等によるマッチング事業
4. 人材派遣会社・人材紹介会社からの紹介	9. 施設のホームページによる求人募集
5. 合同就職説明会	10. その他

(2) 非正規職員の採用

1. ハローワークからの紹介	6. インターネットによる求人サービス
2. 大学等の養成機関からの紹介	7. 新聞折り込み等の紙媒体による求人広告
3. 福祉人材センターからの紹介	8. 行政機関等によるマッチング事業
4. 人材派遣会社・人材紹介会社からの紹介	9. 施設のホームページによる求人募集
5. 合同就職説明会	10. その他

問 2-4 今後の幼稚園教諭・保育士の採用に対する考えについて、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 教育内容・保育内容を充実させるため、正規職員の採用を増やしていく
2. 正規職員は現在の規模を維持し、教育内容・保育内容を充実させるため、非正規職員の採用を増やしていく
3. 正規職員は現在の規模を維持し、一時的に職員の増員が必要になったときは非正規職員の採用で対応していく
4. 正規職員の採用を最小限にとどめ、正規職員の人数を減らして、非正規職員の採用を増やしていく
5. その他、特に決めていない

問 3 幼稚園教諭・保育士の離職状況についてお聞きます。

問 3-1 過去 1 年間(平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)の離職者の状況とその理由(法人等内での異動を除く)について、正規・非正規職員別に人数を記入してください。

(1) 正規職員

勤続年数 離職理由	1 年未満	1～3 年	4～6 年	7～9 年	10 年以上
自己都合	人	人	人	人	人
その他(定年等)	人	人	人	人	人

(2) 非正規職員

勤続年数 離職理由	1 年未満	1～3 年	4～6 年	7～9 年	10 年以上
自己都合	人	人	人	人	人
その他(期間満了等)	人	人	人	人	人

問 3-2 問 3-1 で自己都合による離職者がいる場合、その離職理由として考えられる主なものについて、あてはまるものをそれぞれ 3 つまで○をつけてください(問 3-1 で自己都合による離職者がいない場合は問 4 に進んでください)。

(1) 正規職員

1. 職員間の人間関係	9. 他に就きたい仕事、めざしたいものができた
2. 子どもや保護者との人間関係	10. 体調を崩した、病気になった
3. 仕事の内容ややりがい	11. 結婚
4. 給与等の労働条件	12. 出産・子育て
5. 昇進や将来性に対して不安や不満があった	13. 家族等の介護・看護
6. 研修・職員教育が不十分なため	14. 転居
7. 体力に自信がなくなった	15. その他
8. 勤務時間・勤務日数の過重、休暇の取りにくさ	16. わからない

(2) 非正規職員

1. 職員間の人間関係	9. 他に就きたい仕事、めざしたいものができた
2. 子どもや保護者との人間関係	10. 体調を崩した、病気になった
3. 仕事の内容ややりがい	11. 結婚
4. 給与等の労働条件	12. 出産・子育て
5. 昇進や将来性に対して不安や不満があった	13. 家族等の介護・看護
6. 研修・職員教育が不十分なため	14. 転居
7. 体力に自信がなくなった	15. その他
8. 勤務時間・勤務日数の過重、休暇の取りにくさ	16. わからない

問 4 幼稚園教諭・保育士の人材確保についてお聞きします。

問 4-1 幼稚園教諭・保育士の確保の現状について、どのように感じていますか。a)～d)のそれぞれの現状について、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

	1.確保しにくい	2.なんとか確保している	3.容易に確保できる	4.わからない
a) 正規職員の確保	1	2	3	4
b) 非正規職員の確保	1	2	3	4
c) 新卒者の確保	1	2	3	4
d) 人材確保全般	1	2	3	4

問 4-2 現在と 5 年前を比べたとき、貴施設の人材確保の状況はどのようになったと感じますか。a)～d)のそれぞれの状況について、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

	1.困難になって いる	2.変わらない	3.好転している	4.わからない
a) 正規職員の確保	1	2	3	4
b) 非正規職員の確保	1	2	3	4
c) 新卒者の確保	1	2	3	4
d) 人材確保全般	1	2	3	4

問 4-3 幼稚園教諭・保育士の確保に関し、人材の確保に特に困難を感じるのはどのような職員ですか。あてはまるものを 3 つまで○をつけてください。

1. 学級(クラス)を担当する職員	6. 障がい児対応を担当する職員
2. 正規職員の休暇取得のための代替職員	7. 産休・育休、病気休業等をとる職員の代替職員
3. 年度途中の受入児童数の増に伴って補充する職員	8. その他の職員
4. 一時預かり・一時保育を担当する職員	9. 特にない
5. 早朝や夜間の延長保育を担当する職員	10. わからない

問 4-4 人材の確保が困難な状況に伴って、幼稚園や保育所(園)の運営上、特に支障が生じている、あるいは、生じたことについて、あてはまるもの すべてに○をつけてください。

1. 求人申し込みに対する応募が少なくなり、施設としてほしい人材を選べなくなっている
2. 採用予定数に対して応募数が足りず、追加募集を何度も行なわないといけない状況になっている
3. 職員のローテーションにゆとりがなくなり、休暇がとりにくくなるなど職員の負担が増えている
4. 職員を確保できないことから、職員配置にゆとりがない運営となり、子どもに十分な教育や保育を提供できない
5. 職員を確保できないことから、職員配置にゆとりがない運営となり、職員のスキルアップに時間を割くことができない
6. 職員を確保できないことから、職員配置にゆとりがない運営となり、離職者が増えてきている
7. 年度途中に入園・入所の申し込みや依頼があるが、必要な職員を確保できないため、対応できない
8. 障がい児対応をする職員を確保できないため、障がい児の受け入れを断ったことがある
9. 必要な職員数を確保できず、在籍職員だけで配置基準を満たすために、加算分等の補助金を減額されたことがある
10. 必要な職員数を確保できず、在籍職員だけで配置基準を満たすために、受入児童数を減らしたことがある
11. その他
12. 特にない
13. わからない

問 4-5 人材確保や離職防止のため、貴施設が行っている取り組みについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                             |                           |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 給与水準の引き上げ                | 8. 福利厚生充実                 |
| 2. 給与体系の見直し                 | 9. 書類作成、事務作業の見直しによる効率化    |
| 3. 労働時間の短縮                  | 10. 業務上での悩みなどに対する相談窓口の設置  |
| 4. 休暇が取りやすいように勤務体制を改善       | 11. 社会的な評価の向上(第三者評価の導入など) |
| 5. 園内研修の内容充実                | 12. 採用前の職場体験の実施           |
| 6. 外部研修が受講しやすいように勤務体制を改善    | 13. その他                   |
| 7. キャリアアップのための講座受講・資格取得等を支援 | 14. 特になし                  |

問 5 潜在的な有資格者の活用についてお聞きます。

問 5-1 結婚や出産を機に幼稚園・保育所(園)を離職した人、幼稚園教諭免許や保育士資格をもっているものの幼稚園・保育所(園)で働いた経験がない人などの潜在的な有資格者について、採用したことはありますか。

- |                                |               |                     |
|--------------------------------|---------------|---------------------|
| 1. 正規職員として採用したことがある            | } 1~3の方 問5-2へ | } 回答後、<br>いずれも問5-4へ |
| 2. 非正規職員として採用したことがある           |               |                     |
| 3. 正規職員としても、非正規職員としても採用したことがある |               |                     |
| 4. 採用したことがない                   | } 4の方 問5-3へ   |                     |

問 5-2 どのような募集方法を利用して採用しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. ハローワークからの紹介        | 6. インターネットによる求人サービス   |
| 2. 大学等の養成機関からの紹介      | 7. 新聞折り込み等の紙媒体による求人広告 |
| 3. 福祉人材センターからの紹介      | 8. 施設のホームページによる求人募集   |
| 4. 人材派遣会社・人材紹介会社からの紹介 | 9. その他                |
| 5. 合同就職説明会            |                       |

問 5-3 潜在的な有資格者を採用するために特に支障になることとして、あてはまるものを 3 つまで○をつけてください。

- |                            |                       |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 子育てのため早朝や夜間に勤務してもらえないこと | 4. 社会人として必要な教養やマナーの不足 |
| 2. 子どもの病気などのため急に帰ることがあること  | 5. その他                |
| 3. 今の教育・保育環境に適応する知識や技術の不足  | 6. 特になし               |

問 5-4 潜在的な有資格者を活用するためにどのような支援が必要だと思われますか。あてはまるものを 3 つまで○をつけてください。

- |                            |                          |
|----------------------------|--------------------------|
| 1. 潜在的な有資格者向けの就職説明会        | 7. 今の教育・保育環境に適応するための研修会  |
| 2. 行政機関等によるマッチング事業         | 8. 社会人として必要な教養やマナーを学ぶ研修会 |
| 3. ハローワークと幼稚園・保育所(園)との連携強化 | 9. 潜在的な有資格者のための現場体験      |
| 4. 離職した職場からの支援・情報提供        | 10. 職員の処遇改善              |
| 5. 卒業した養成機関からの支援・情報提供      | 11. その他                  |
| 6. 保育士の子どもを優先的に預かる保育制度     | 12. 特になし                 |

問 6 新卒者の採用に関してお聞きします。

問 6-1 採用した新卒者について、幼稚園教諭や保育士として働くために特に不足していると感じるものについて、あてはまるものを 3 つまで○をつけてください。

1. 子どもの気持ちを受け入れること	7. 保護者とのコミュニケーション能力
2. 幼児教育や保育に対する熱意	8. 園長や他の職員とのコミュニケーション能力
3. 実施した教育・保育内容に対する振り返り	9. 社会人として必要な教養やマナー
4. ピアノ実技や絵本の読み聞かせなどの技術	10. その他
5. 集団保育をまとめる指導力	11. 特にない
6. アレルギーや薬の誤飲など子どもの安全に対する配慮	12. わからない

問 6-2 問 6-1 の不足点を補い、新卒者が定着するために、特に必要な支援として、あてはまるものを 3 つまで○をつけてください。

1. 先輩職員によるきめ細かい個別指導	7. アレルギー対応などの専門的知識に関する外部研修
2. 園長や主任によるサポート体制	8. コミュニケーション能力を高めるための外部研修
3. 職員会議の活性化	9. 社会人として必要な教養やマナーに関する外部研修
4. 職場内での相談体制の確立	10. その他
5. 園内研修の充実	11. 特にない
6. 保育全般にかかる新卒者に対する集団研修	12. わからない

問 6-3 養成機関の学生が幼稚園や保育所(園)への就職を意識する機会のひとつとして、教育実習や保育実習がありますが、貴施設では、教育実習や保育実習の実習生を受け入れていますか。

1. 受け入れている → 問 6-4 へ	} 回答後、 いずれも問 6-6 へ
2. 受け入れていない → 問 6-5 へ	

問 6-4 教育実習や保育実習で、実習生に対して行っている支援として、あてはまるもの すべてに○をつけてください。

1. 子どもへの接し方等の現場職員によるアドバイス	5. 実習生への効果的な実習プログラムの提供
2. 日々の研修全般にかかる園長からのサポート	6. 教育・保育に携わってよかったという体験談の提供
3. 現場からみた保育実践に関するレクチャー	7. その他
4. 大学等の養成機関への日々の報告	8. 特に支援していない

問 6-5 就職あっせんや教育実習・保育実習などに関し、大学等の養成機関と連携していること、連携したいことについて、a)～e) あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

	1.すでに 連携している	2.今後連携したい	3.連携したいとは思わない	4.わからない
a) 実習先の確保	1	2	3	4
b) 実習生に対する支援の連携	1	2	3	4
c) 就職説明会の開催	1	2	3	4
d) 就職先として個別に紹介	1	2	3	4
e) 定期的な連絡会の設置	1	2	3	4

問 6-6 貴施設の職員の声をお聞きします。新卒者として採用されたとき、なぜ幼稚園教諭や保育士として貴施設で働きたいと考えたのかについて、自由にご記入ください。

(働こうと思った理由)

問 7 人材確保や離職防止のための施設への支援について、お聞きします。

問 7-1 人材確保や離職防止のため、大阪府に対し希望する支援について、あてはまるものを 3 つまで○をつけてください。

- |                            |                         |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. 大学等の養成機関への働きかけ          | 7. 大阪府や市町村が実施する研修の充実    |
| 2. ハローワークへの働きかけ            | 8. 潜在的な有資格者の掘り起こし       |
| 3. 福祉人材センターとの連携強化          | 9. 潜在的な有資格者への研修、職場体験の実施 |
| 4. 市町村が実施している人材確保事業への支援・連携 | 10. 職員の処遇改善             |
| 5. 大阪府独自の人材バンクの開設          | 11. その他                 |
| 6. 園内研修への支援                | 12. 特になし                |

問 7-2 人材確保や離職防止のために必要と考える支援や課題について、自由にご記入ください。

【幼稚園・保育所(園)における保育士等確保のための調査】については以上です。

続いて、【子育て支援活動に関する調査】をお願いします。

.....

## 【子育て支援活動に関する調査 (問8～問18)】

問 8 貴施設の状況についてお聞きします。

問 8-1 併設施設 (幼稚園・保育所に隣接し、一体的に運用している施設のみ)

- |                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| 1. 幼稚園                | 6. 児童養護施設(乳児院含む) |
| 2. 保育所(園)             | 7. 母子生活支援施設      |
| 3. 認可外保育施設            | 8. 障がい児施設        |
| 4. 地域子育て支援拠点(一般型)     | 9. 高齢者施設         |
| 5. 地域子育て支援拠点(地域機能強化型) | 10. その他          |

本調査では、幼稚園・保育所(園)における子育て支援活動について、次のように選択肢を設けています。回答の際は、この「選択肢一覧」で示す番号を記入してください。

<u>育児不安等への相談指導</u>	<u>保育や子育て支援機能の提供</u>
1. 施設での教育・子育て相談	18. 施設での一時預かり
2. インターネットや電話による教育・子育て相談	19. 訪問による一時預かり(ベビーシッター)
3. 家庭訪問等による個別の子育て相談や支援	20. 家事援助やその他のお手伝いのサービス
4. 私立幼稚園でのキンダーカウンセラーによる相談	21. 学童保育
5. 私立保育所(園)でのスマイルサポーターによる相談	<u>地域に対する子育て支援活動</u>
<u>親子や親のための交流活動</u>	22. 地域に出て行う広場活動
6. 子育てサロン・ひろばなどの親子交流活動	23. 地域への啓発活動
7. 親子交流のためのプログラムや行事等	24. 町内会等の地域活動への参加・交流
8. 子どもと子育てに関する講習会	25. 地域住民による子育て支援活動への支援
9. 親を対象に子育ての方法をトレーニングするプログラム	<u>地域の子育てサークル・子育てボランティアの育成</u>
10. 本や教材の貸し出し(絵本や育児書)	26. 地域の子育てサークルの育成
11. PTAや保護者活動への支援	27. ボランティアの養成・支援
12. 親同士が会話をする場の提供	<u>その他</u>
13. 親の趣味や息抜きに関するプログラム	28. 子どもと家庭が抱える問題や地域ニーズの把握
14. 親の再就職のための支援プログラム	29. 子育てに関するあらゆる情報提供(施設発行の情報誌等)
<u>子どものための交流活動</u>	30. マスコミ、新聞、テレビ、ミニコミ誌を活用した情報発信
15. 世代間交流活動	31. 保育ママなどの保育従事者への講習会・研修
16. 小学校との交流活動	32. 保育ママや認可外保育施設との連携・支援
17. 中高生との交流活動(体験学習・ボランティア)	33. 実施していない、特になし

問 9 貴施設では、施設を利用している子どもやその親を対象とした子育て支援活動としてどのような活動を実施していますか。あてはまるものすべてを「選択肢一覧」から選んで、枠内に数字を記入してください。

( )

問 10 貴施設では、地域の子育て家庭を対象とした子育て支援活動を実施していますか。あてはまるものすべてを「選択肢一覧」から選んで、枠内に数字を記入してください。

( )

問 11 貴施設で今は実施していないが、支援があれば将来的には実施してみたいと考える地域の子育て家庭を対象とした子育て支援活動はありますか。あてはまるものすべてを「選択肢一覧」から選んで、枠内に数字を記入してください。

( )



問 12 問 10 で実施していると回答した子育て支援活動のうち、貴施設が他の団体(貴施設の併設施設を除く)と協力して実施している活動はありますか。a)から n)の団体ごとに「あり」、「なし」の○をつけていただいたうえで、「あり」の場合は、団体ごとに連携している子育て支援活動の番号を記入してください。

問 10 で回答した活動のうち

a) 他の幼稚園	あり	( )	なし
b) 他の保育所(園)	あり	( )	なし
c) 小学校・中学校	あり	( )	なし
d) 市町村子育て支援担当課	あり	( )	なし
e) 保健センター(保健所)	あり	( )	なし
f) 児童相談所	あり	( )	なし
g) 市町村社会福祉協議会	あり	( )	なし
h) 民生委員・児童委員・主任児童委員	あり	( )	なし
i) NPO・ボランティア団体	あり	( )	なし
j) 子育てサークル	あり	( )	なし
k) 町内会・自治会	あり	( )	なし
l) 地域住民	あり	( )	なし
m) 企業・商店街など	あり	( )	なし
n) 保護者(卒園児の親を含む)	あり	( )	なし

問 13 市町村や他の子育て支援団体が a)~i)の子育て支援活動を実施している、あるいは、実施しようとした場合に、貴施設が提供できるものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

	1	2	3	4	5	6	7	8
	活動場所	マンパワー	遊具等	専門知識	広報媒体	資金	活動ノウハウ	いずれもない
a) 育児不安等への相談指導	1	2	3	4	5	6	7	8
b) 親子や親のための交流活動	1	2	3	4	5	6	7	8
c) 子どものための交流活動	1	2	3	4	5	6	7	8
d) 保育や子育て支援機能の提供	1	2	3	4	5	6	7	8
e) 地域に対する子育て支援活動	1	2	3	4	5	6	7	8
f) 地域の子育てサークル・子育てボランティアの育成	1	2	3	4	5	6	7	8
g) 子育てに関するあらゆる情報提供	1	2	3	4	5	6	7	8
h) 保育ママや認可外保育施設との連携・支援	1	2	3	4	5	6	7	8
i) 家庭訪問等による個別の子育て支援	1	2	3	4	5	6	7	8

問 14 子育て家庭に対する地域にある他の多様な団体との連携・協働について、どのように考えていますか。考えに近いもの1つに○をつけてください。

	1	2	3	4	5
	すでに十分に連携・協働しており、現状を維持	現在も連携・協働しているが、今後さらに強化	現在の連携・協働は不十分だが、今後強化	連携・協働したいが、実際はできない	連携・協働していないし、今後もしないと思う
a) 他の幼稚園	1	2	3	4	5
b) 他の保育所(園)	1	2	3	4	5
c) 小学校・中学校	1	2	3	4	5
d) 市町村子育て支援担当課	1	2	3	4	5
e) 保健センター(保健所)	1	2	3	4	5
f) 児童相談所	1	2	3	4	5
g) 市町村社会福祉協議会	1	2	3	4	5
h) 民生委員・児童委員・主任児童委員	1	2	3	4	5
i) NPO・ボランティア団体	1	2	3	4	5
j) 子育てサークル	1	2	3	4	5
k) 町内会・自治会	1	2	3	4	5
l) 地域住民	1	2	3	4	5
m) 企業・商店街など	1	2	3	4	5
n) 保護者(卒園児の親を含む)	1	2	3	4	5

問 14-1 問 14 で「4. 連携・協働したいが実際はできない」を選ばれた施設におたずねします。該当する理由すべてに○をつけ、その理由が該当する団体等について、枠内に記号 a)~n)を記入してください。

1. 地域に該当する団体等がない、どこにいるのかわからない	( )
2. 地域に該当する団体等があるが、接点がない	( )
3. 地域に該当する団体等があるが、考え方が違うと感じる	( )
4. 地域に該当する団体等があるが、相手方に協働の意思がない	( )
5. 忙しくて協働する時間が取れない	( )
6. 継続的に協働する自信がない	( )
7. その他、特に理由なし	( )

問 15 貴施設では、地域の在宅子育て家庭の支援ニーズを把握するための取り組みを行っていますか。実施しているものすべてに○をつけてください。

1. 地域子育て家庭支援のプログラム・行事実施の際に参加者にアンケート等を実施して把握している
2. 電子メールアドレスを公開し、意見や希望を自由にメールしてもらっている
3. 行政機関の得た情報を提供してもらうことにより把握している
4. 子育てサークルの得た情報を提供してもらうことにより、把握している
5. その他の方法により、把握している
6. 地域の在宅子育て支援家庭の支援ニーズを把握する取り組みはない

問 16 地域の在宅子育て家庭は、どのようなことで困っていると思いますか。多いと思うものを 5 つまで○をつけてください。

- |                            |                              |
|----------------------------|------------------------------|
| 1. 子どもと一緒に遊びに行ける場所がない      | 7. 同世代の子どもを持つ保護者と話す場がない      |
| 2. 子どもを預けられない・自分の時間がほしい    | 8. 悩みを聞いてくれたり、相談に乗ってくれる人がいない |
| 3. 子どもがきちんと発達しているのかがわからない  | 9. 子どもの病気について相談できる人がいない      |
| 4. 子どもの発達段階に応じた情報がない       | 10. 困っていることは特にない             |
| 5. 子どもをどのようにしつけたらいいのかわからない | 11. わからない                    |
| 6. 自分の子育てがこれでいいのか不安がある     |                              |

問 17 貴施設は、問 14 で例示したような地域の子育て関係機関が集まる連絡会に参加していますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 参加している | 2. 参加していない |
|-----------|------------|

問 18 地域の子育て家庭への支援についてのお考え、施設としての課題などがございましたら、ご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。